

なにわ芸術祭では受賞者にトロフィーが贈られた ー7日午後7時、大阪市北区



## 新しい才能 関西から飛翔

### なにわ芸術祭、記念公演・表彰式

関西発の新進芸術家の発掘・育成を目指す「第51回なにわ芸術祭」(産経新聞社など主催、大阪製紙、近鉄タクシー協賛)の受賞者記念公演と表彰式が7日、サンケイホールブリーゼ(大阪市北区)で開かれた。

はの芸術祭。受賞者を温かく見守っていただけ、みなさんは一とと精進を重ね、世界へと羽ばたいていってください」とあいさつした。

落語部門で昨年の新人奨励賞に続き新人賞に輝いた桂雀五郎さんら落語、日本舞踊、クラシック音楽、洋舞、ジャズの計5部門の新人賞と新人奨励賞の受賞者計13人が出演。みずみずしい演技と演奏に約700人の観客から大きな拍手が送られた。

なにわ芸術祭は上方文化の伝統を受け継ぐ舞台芸能の発展を目指し、昭和39年にサンケイ新聞社(当時)が創設した。毎年、古典・現代、国内外を問わない総合芸術祭として多彩な公演を開催。舞踊の京舞井上流五世家元の井上八千代さん、落語家の桂吉弥さんら大勢の舞台芸術家を輩出してきた。

表彰式で産経新聞社の齋藤勉専務取締役大阪代表は「落語家からソプラノ歌手までが同じ舞台上に立つなにわ芸術祭は縦割りの東京ではできない大阪ならではの

一昨年までは表彰式のみだったが、昨年の第50回を機に5部門の受賞者が一堂に会して演目を披露する記念公演を開催している。